

**シーシーエス株式会社**  
**2016年7月期第1四半期**  
**決算説明**



**2015年12月9日**  
**JASDAQ コード6669**

1. **2016年7月期第1四半期 決算概要**
2. **2016年7月期第1四半期 事業分野別の状況**
3. **2016年7月期の成長戦略**
4. **参考資料 ～会社概要～**

# 1. 2016年7月期第1四半期 決算概要

# 2016年7月期 連結業績



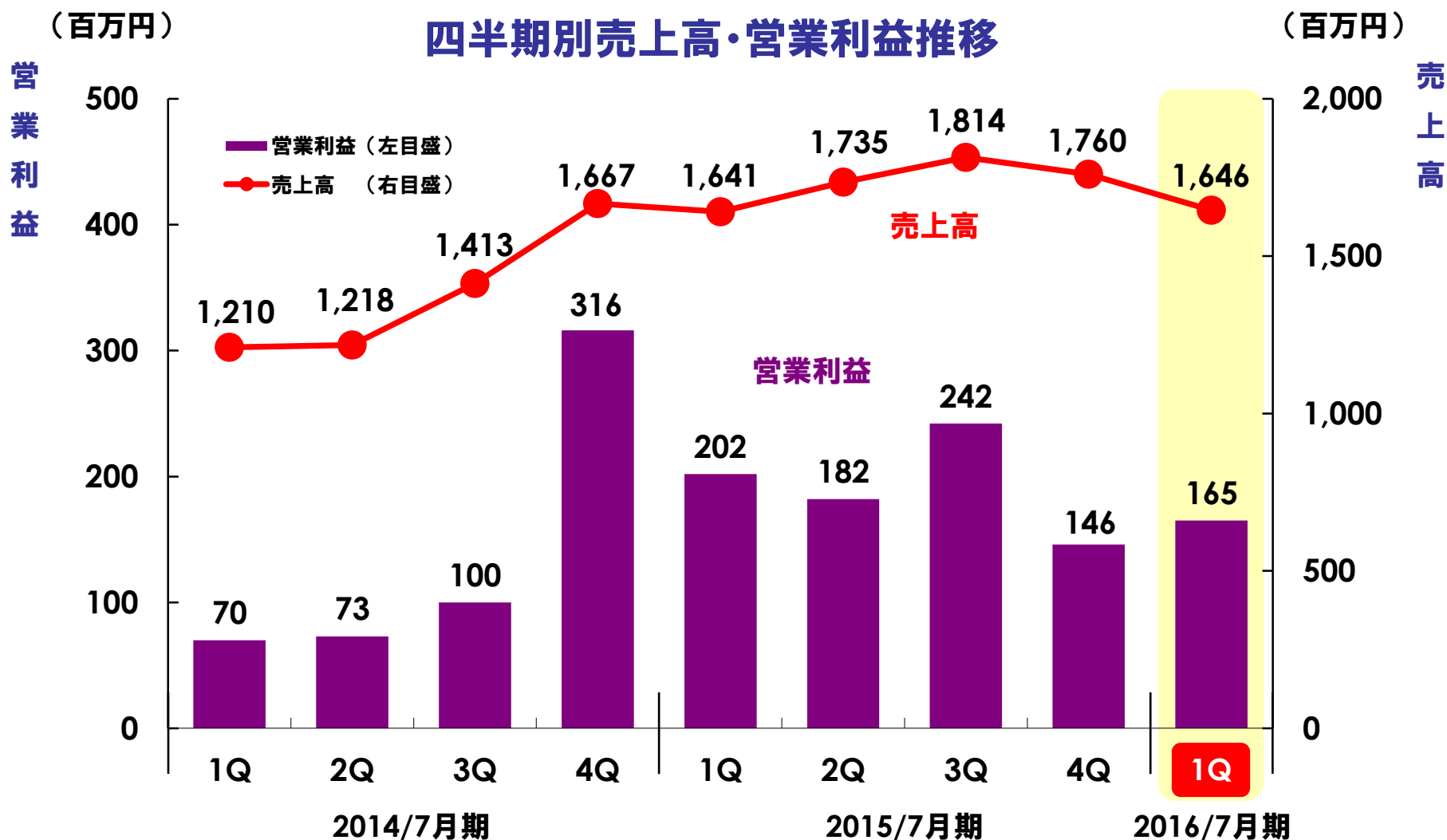
(単位:百万円)

	2015/7月期1Q		2016/7月期1Q		増減	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	1,641	100.0	1,646	100.0	+5	+0.4
売上総利益	989	60.3	970	58.9	▲18	▲1.9
販管費	786	47.9	804	48.9	+18	+2.3
営業利益	202	12.3	165	10.1	▲37	▲18.3
経常利益	199	12.1	156	9.5	▲42	▲21.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	177	10.8	98	6.0	▲79	▲44.6

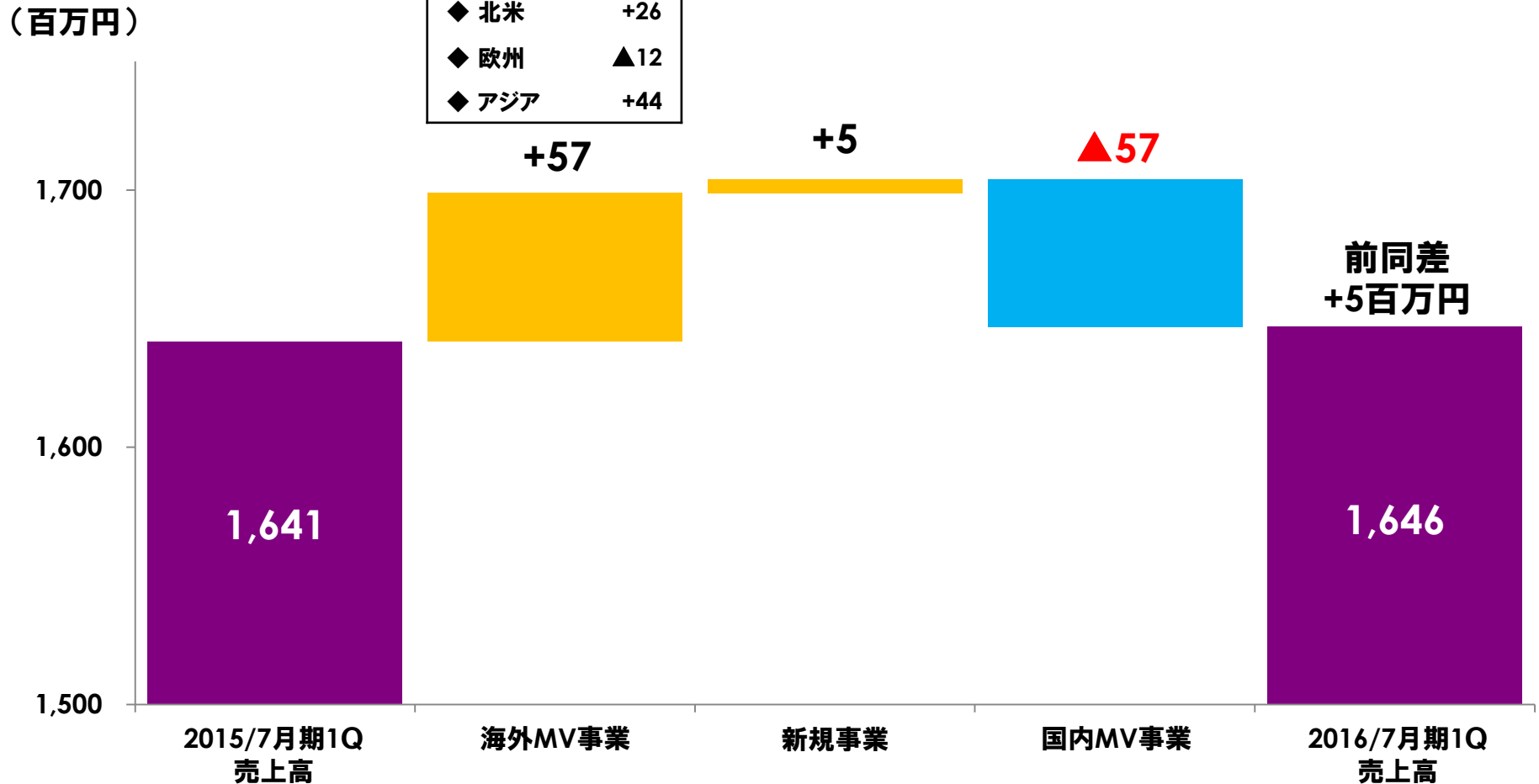
	前年同期比	キーポイント
売上高	➡	ほぼ前期並み
売上総利益	➡	やや低下
販管費	➡	営業活動・研究開発活動強化により増加
営業利益	➡	営業利益率10%を維持
親会社株主に帰属する四半期純利益	➡	税負担が通常水準に戻り、前期比減少

# 決算ハイライト

## 売上高、営業利益ともに計画通りの進捗



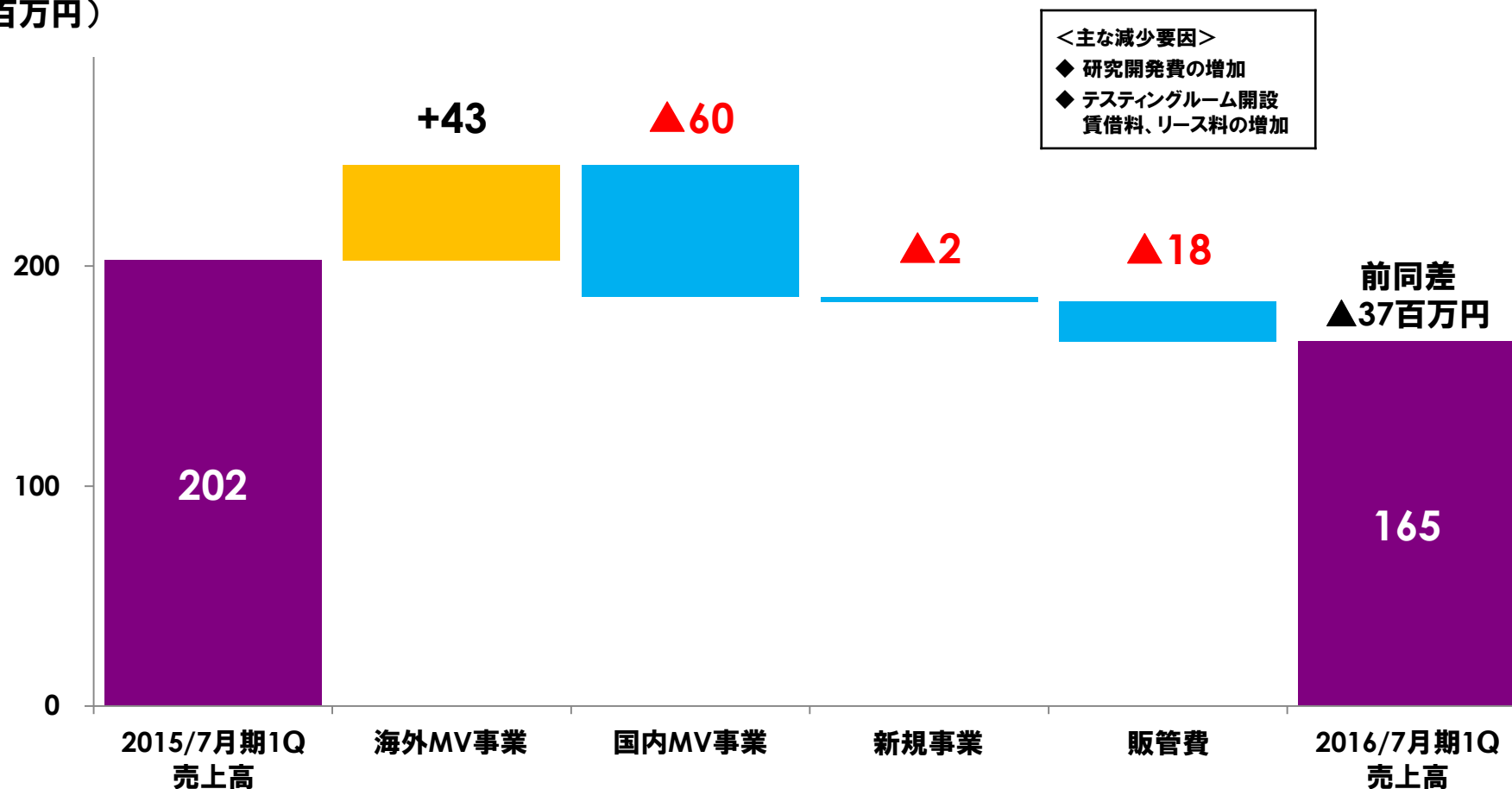
# 売上高の増減要因分析



- ◆ 海外MV事業は、Rseeが前期比増収でスタート  
北米・欧州は前年並みながら、米ドル高が増収に寄与
- ◆ 国内MV事業は、前年同期に比べると足踏み状態

# 営業利益の増減要因分析

(百万円)



- ◆ 海外MV事業の増収による増益
- ◆ 商品、製品ミックスにより国内MV事業で粗利率が低下
- ◆ 将来に向けた研究開発投資、営業強化策により、販売管理費が増加

# 貸借対照表(連結)



(単位:百万円)

資産	15/7 期末	16/7 1Q	負債・純資産	15/7 期末	16/7 1Q
現金及び預金	2,216	2,078	流動負債	1,815	1,752
受取手形及び売掛金	1,658	1,645	固定負債	776	715
たな卸資産	1,051	1,081			
その他	190	179			
<b>流動資産合計</b>	<b>5,116</b>	<b>4,985</b>	<b>負債合計</b>	<b>2,591</b>	<b>2,468</b>
有形固定資産	1,021	1,009	資本金	462	462
無形固定資産	140	142	資本剰余金	1,460	1,460
投資その他の資産	385	360	利益剰余金	1,909	1,899
			為替換算調整勘定	84	50
			少数株主持分	155	158
<b>固定資産合計</b>	<b>1,547</b>	<b>1,513</b>	<b>純資産合計</b>	<b>4,072</b>	<b>4,030</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,664</b>	<b>6,498</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,664</b>	<b>6,498</b>

借入金の返済により、現預金および負債が減少いたしました。



## **2. 2016年7月期第1四半期 事業分野別の状況**

- 1) 事業推進の考え方**
- 2) MV(マシンビジョン)事業**
- 3) 新規事業**

# 1) 事業推進の考え方 事業拡大に向けて

地理的な拡大

A

その他未開拓エリア

ヨーロッパ

アジア

アメリカ

国内MV(マシンビジョン)事業で獲得した  
画像処理用LED照明における技術的蓄積と  
ノウハウを基礎に

A : MV事業の海外展開

B : 当社の強みを発揮できる事業領域への  
展開を推進

さらに、積極的な事業連携による、周辺商材  
を含むシステムソリューション提案の加速

国内MV  
(マシンビジョン)

新規FA

メディカル

商業用

デバイス技術  
(自然光LED)

B

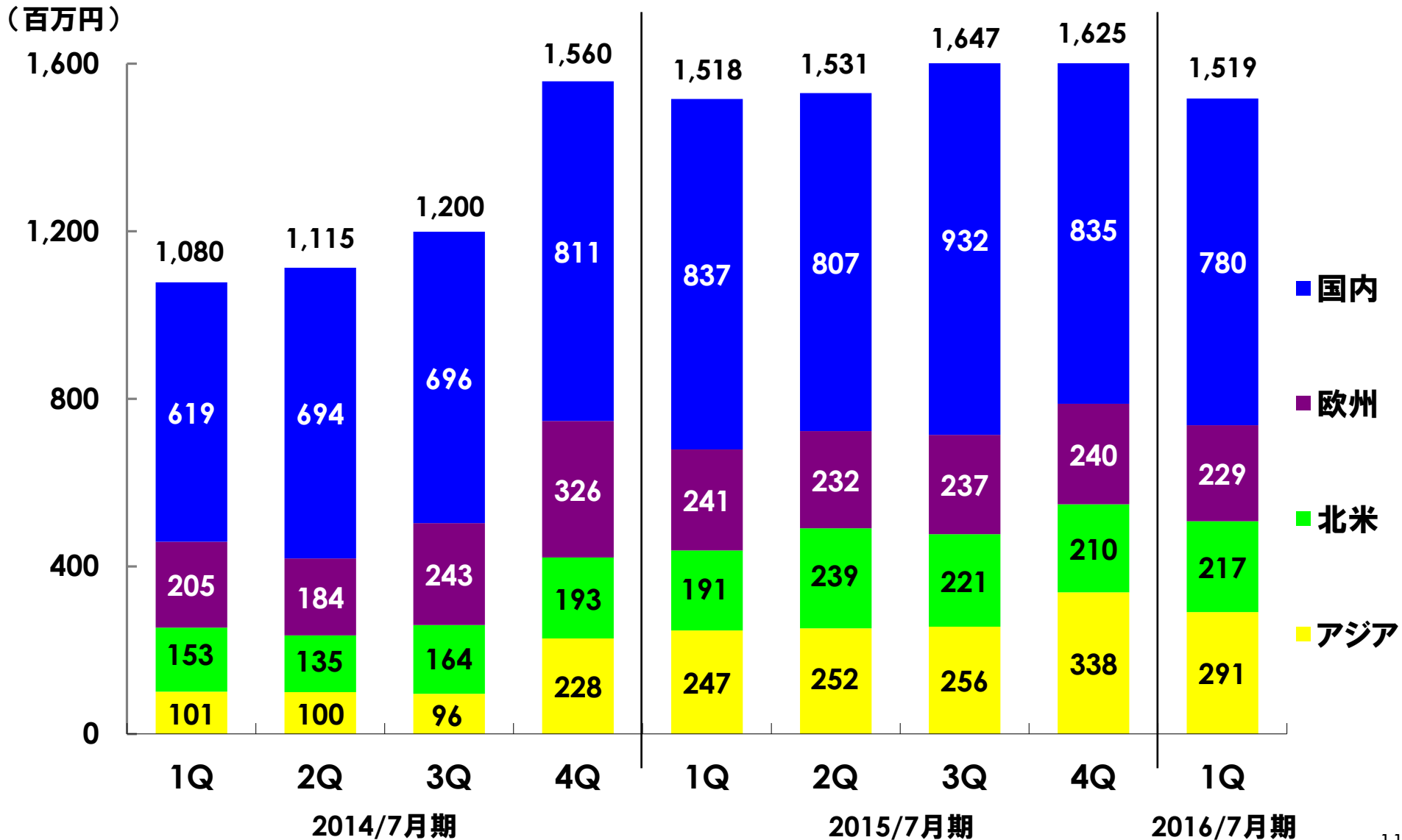
ソリューションの拡充

事業領域の拡大

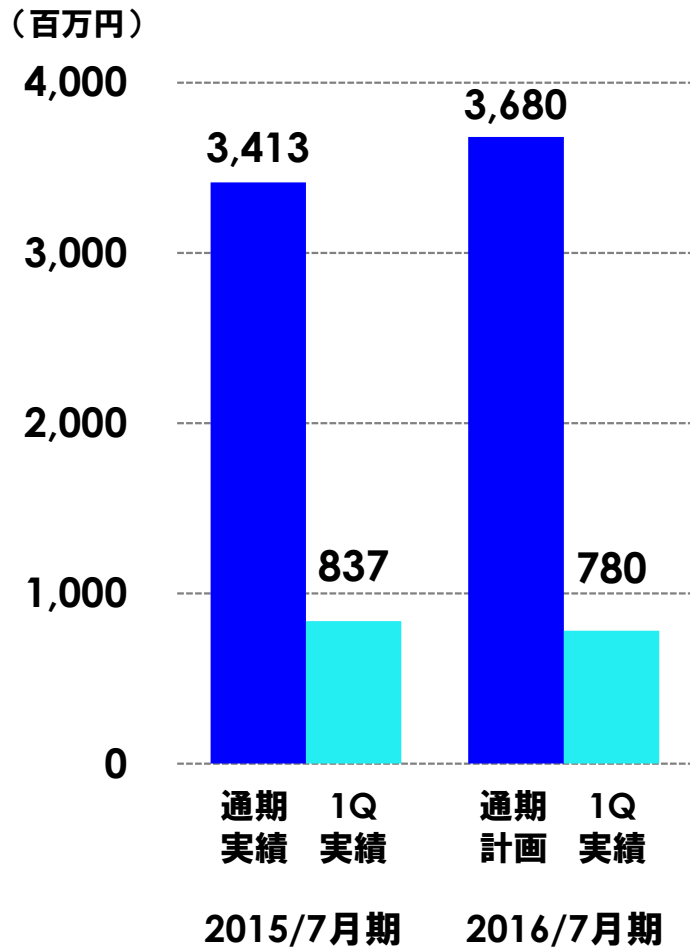
# 2) MV事業 【地域別売上高】



2014年7月期～2016年7月期



## 売上高前期比較（累計）



## 2016年7月期1Q トピックス

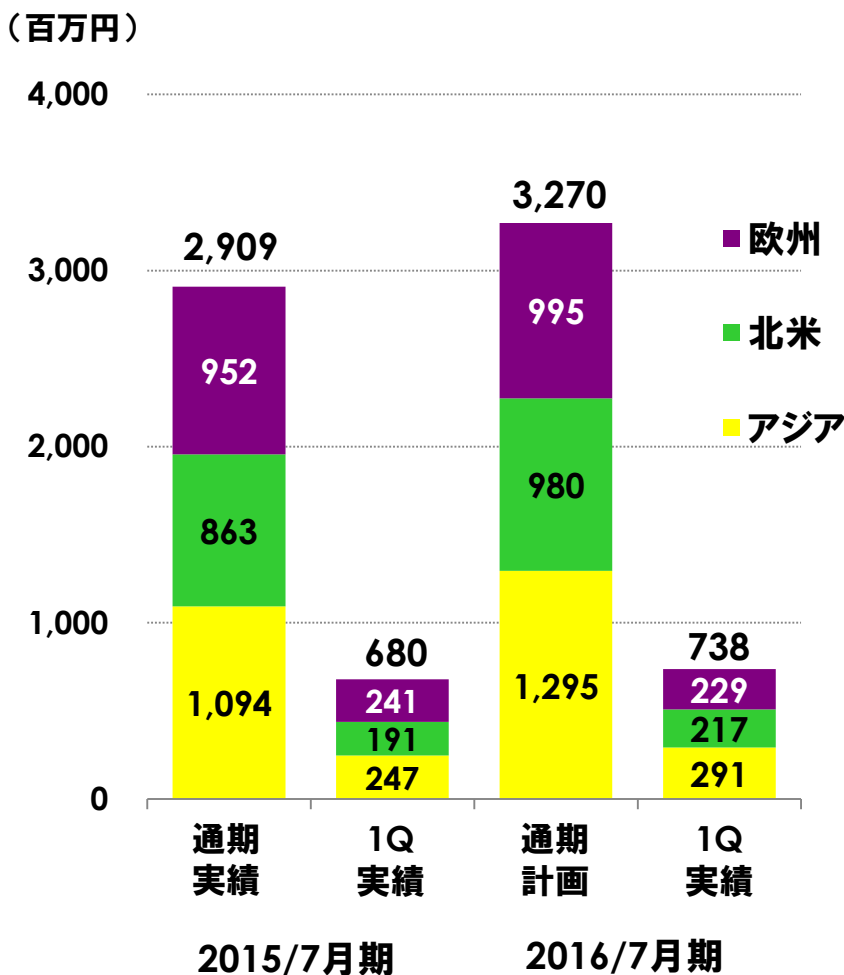
- ◆ 国内設備投資回復期であった前期に比べると、顧客の設備投資動向はやや足踏み状態。
- ◆ 中国景気減速の影響を受け、電子・半導体業界に減速感はあるものの、新規案件の引き合いは活発。
- ◆ 新たにテストングルームを開設し、空白区・混戦区の顧客サポートを強化。また、訪問件数管理や案件進捗管理など、営業活動を継続増強。
- ◆ レンズ・カメラ等の周辺商材を含めたソリューション提案の取組みにより、受注機会増加傾向。
- ◆ 同業他社・周辺商材を取り扱う企業とのアライアンスも継続取組中。

# 【海外MV事業】



## 売上高前期比較（累計）

## 2016年7月期1Q トピックス



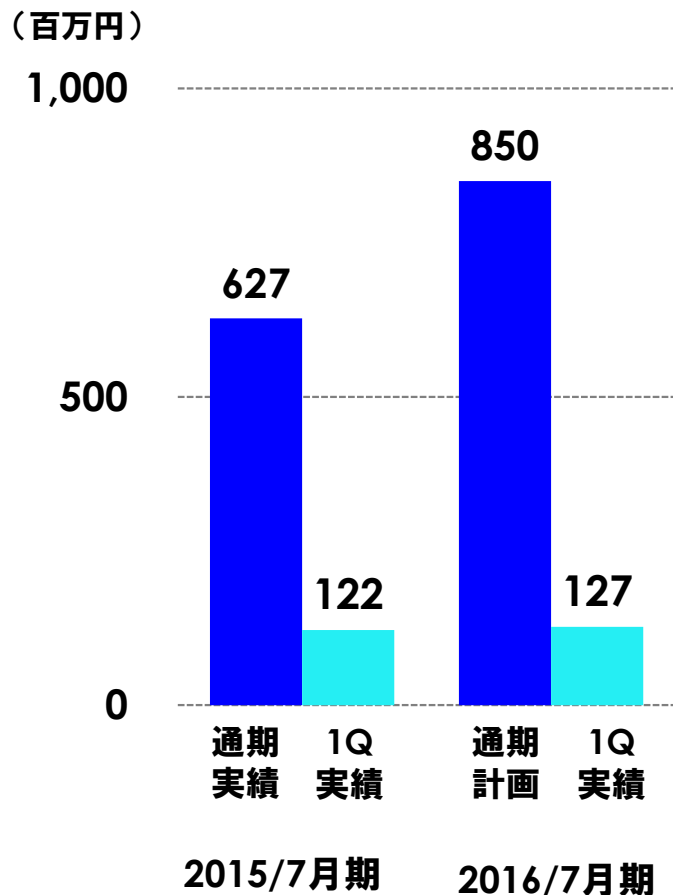
- ◆ **欧州**  
政情不安による不透明感はあるものの、大手顧客に復調の兆し。  
現地技術スタッフを増強し、顧客サポートの強化、特注対応のスピードアップを図り、大型案件獲得に注力。
- ◆ **北米**  
西海岸に新たにテストングルームを開設、現地ニーズを取り込む体制を構築。  
また、メキシコを含む中南米の営業活動に引き続き注力。
- ◆ **アジア**  
中国はRseeが好調スタート。  
シンガポールが堅調に推移。

※ 参考情報：レート

通貨	2015年7月期1Q	2016年7月期1Q
USD	106.03円	121.20円
EUR	137.45円	135.68円

# 3) 新規事業

## 売上高前期比較（累計）



## 2016年7月期1Q トピックス

- ◆ 売上高は堅調に推移し、前年同水準
- ◆ デバイスビジネス
  - ・継続案件は堅調。継続案件から横展開した新規案件を開発中。
  - ・医療分野において、“自然光LED”の特性を活かした新規案件の試作開発が複数進行中。
  - ・海外展開に向けても準備中。
- ◆ UVビジネス
  - ・印刷業界向け高出力UV照射器の出荷を本格開始。
  - ・アライアンスによる商材の拡充により、提案の幅を広げ、受注活動が活発化。
- ◆ その他
  - ・アグリバイオは、大型案件が後ろ倒し。
  - ・美術館・博物館は、大型受注獲得活動を強化推進中。

### **3. 2016年7月期の成長戦略**

# 23期 全社スローガン

(2016年7月期)

**真心こそが  
あらゆる技に勝る**

## 23期 重点施策

1. 経営体質の強化
2. 事業基盤の強化
3. 開発力の強化と革新



## 事業基盤の強化

前期の2拠点開設に続き、2015年10月に3拠点開設

- ◆ 本厚木(神奈川) テスティングルーム
- ◆ 淀屋橋(大阪) テスティングルーム
- ◆ サンノゼ テスティングルーム CCS America, Inc.

テストングルームでは、お客様の持参された検査対象物に対して、ライティング実験を行い、最適な照明を提案いたします。



## アライアンスの推進による提案力強化

- ・ 自社開発の製品だけでなく、UVランプメーカーや材料メーカー（UV硬化樹脂等）と連携し、UV-LED照射器の拡販を進めていく
- ・ 業務提携等アライアンスの推進によって、製品ラインナップを拡充、提案力を強化

### ◆ 京都電機器(株)との業務提携 2015年9月

印刷業界向け高出力UV照射器

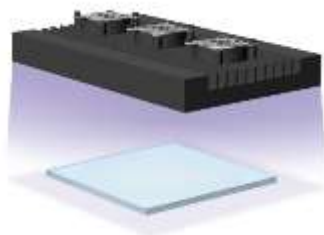
高出力UV照射器用電源

シーシーエス製品

京都電機器による開発



両製品の量産がスタート



高出力UV照射器



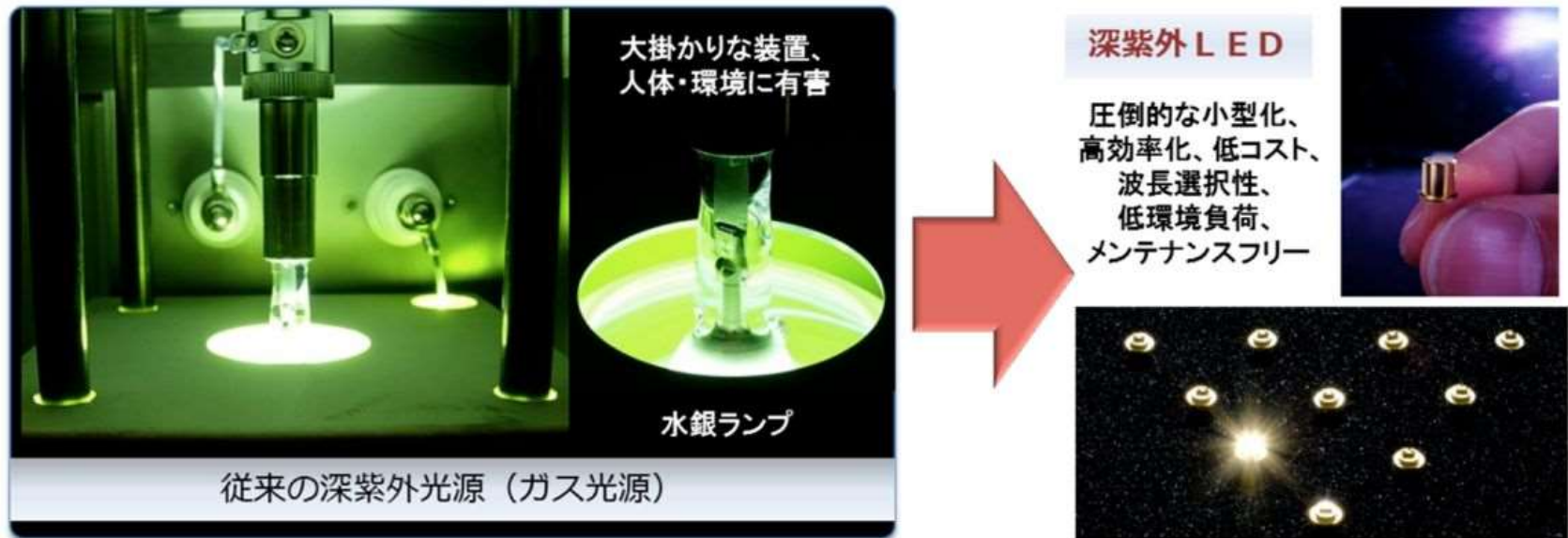
高出力UV照射器用電源

※イメージ図

## 科学技術振興機構のA-STEP(シーズ育成タイプ)に採択

### ◆ 「高出力化を実現する深紫外LED光源技術の開発」

情報通信研究機構(NICT) 井上振一郎氏との共同開発で  
高出力深紫外LEDの実用化を目指す



(出典) 国立研究開発法人情報通信研究機構 <http://www.nict.go.jp/press/2015/04/01-2.html>

従来の深紫外光源から小型・低コスト・低消費電力・自由な波長選択が可能  
な深紫外LEDへの置き換えが切望されている

# 2016年7月期 計画（連結）



（単位：百万円）

	2015/7月期 実績		2016/7月期 計画		増減額	増減率
	金額 [A]	対売上比 (%)	金額 [B]	対売上比 (%)	金額 [B]-[A]	% [B]/[A]-1
売上高	6,951	100.0	7,800	100.0	848	12.2%
売上総利益	4,058	58.4	4,620	59.2	561	13.8%
販管費	3,284	47.3	3,700	47.4	415	12.6%
営業利益	773	11.1	920	11.8	146	19.0%
経常利益	760	10.9	860	11.0	99	13.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	772	11.1	540	6.9	▲232	▲30.1%

2015年7月期は繰延税金資産の積み増し等により法人税等の負担率が極めて小さかったが、2016年7月期は通常の税負担率を想定しているため、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となる見通し。

## 4. 参考資料 ～会社概要～

## Creating Customer Satisfaction

**社是** : 『お客様に愛と感謝』

**基本理念**: 『光を科学し、社会に貢献する』

**行動指針**: 『すべてはお客様のために』

# 会社概要



- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役社長 各務 嘉郎
- 設立 1993年10月
- 資本金 462百万円
- 従業員数 ※ 連結 226名(144名) 単体 196名 (44名)  
注：外書きの( )内は臨時従業員数です。
- 発行済株式総数 普通株式 4,138,000株  
A種優先株式 5,103株
- 株主数 普通株式 2,509名  
2015年7月末日現在 A種優先株式 4名
- 連結子会社 CCS America, Inc. / CCS Asia PTE.LTD. / CCS Europe N.V.  
CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT.LTD.  
東莞銳視光電科技有限公司(Rsee)
- 拠点数 ※ 国内 10ヵ所 京都本社・生産センター・光技術研究所  
東京・名古屋・仙台・本厚木・金沢・守山・淀屋橋  
海外 10ヶ所 ボストン・エルパソ・サンノゼ・ベルギー・シンガポール・タイ  
上海・深圳・東莞・台湾 (連結子会社含む)



本社(京都市上京区)

※2015年10月末日現在

- 1993 シーシーエス株式会社を資本金1,000万円で設立
- 1999 CCS America, Inc.(100%子会社)を設立 (米国マサチューセッツ州)
- 2000 東京営業所を開設 (東京都渋谷区)
- 2001 本社移転 (現所在地)
- 2003 上海駐在員事務所を開設 (中国 上海市)
- 2004 ジャスダックに上場  
RDV(S)PTE LTD社を子会社化 (シンガポール)  
CCS Europe NV(100%子会社)を設立 (ベルギー)
- 2005 ISO9001認証取得
- 2006 ISO14001認証取得
- 2007 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)  
仙台テストングループを開設 (宮城県仙台市青葉区)  
山口大学との共同開発で「自然光LED」照明を開発
- 2008 新研究所「光技術研究所」を開設 (京都市上京区)  
深セン駐在員事務所を開設 (中国広東省深セン市)  
名古屋営業所を開設 (名古屋市中村区)
- 2009 連結子会社であるRDV(S)PTE .LTD.の商号をCCS Asia PTE.LTD.へ変更  
医療機器製造業および第三種医療機器製造販売業に関する許可を取得
- 2010 CCS Asia PTE.LTD.バンコク駐在員事務所を開設 (タイ・バンコク)
- 2011 CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTD.を設立 (インド)
- 2012 医療用LED照明の開発・販売、医療分野へ参入
- 2013 台湾駐在員事務所を開設 (台湾 新竹県)
- 2014 CCS America, Inc.エル・パソ テキサス テスティングルームを開設 (米国テキサス州)  
東莞鋭視光電科技有限公司を設立 (中国広東省東莞市)  
金沢テストングループを開設 (石川県金沢市)  
守山テストングループを開設 (滋賀県守山市)
- 2015 CCS America, Inc.サンノゼテストングループを開設 (米国カリフォルニア州)  
本厚木テストングループを開設 (神奈川県厚木市)  
淀屋橋テストングループを開設 (大阪府中央区)

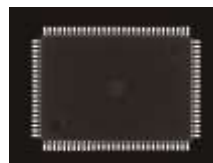
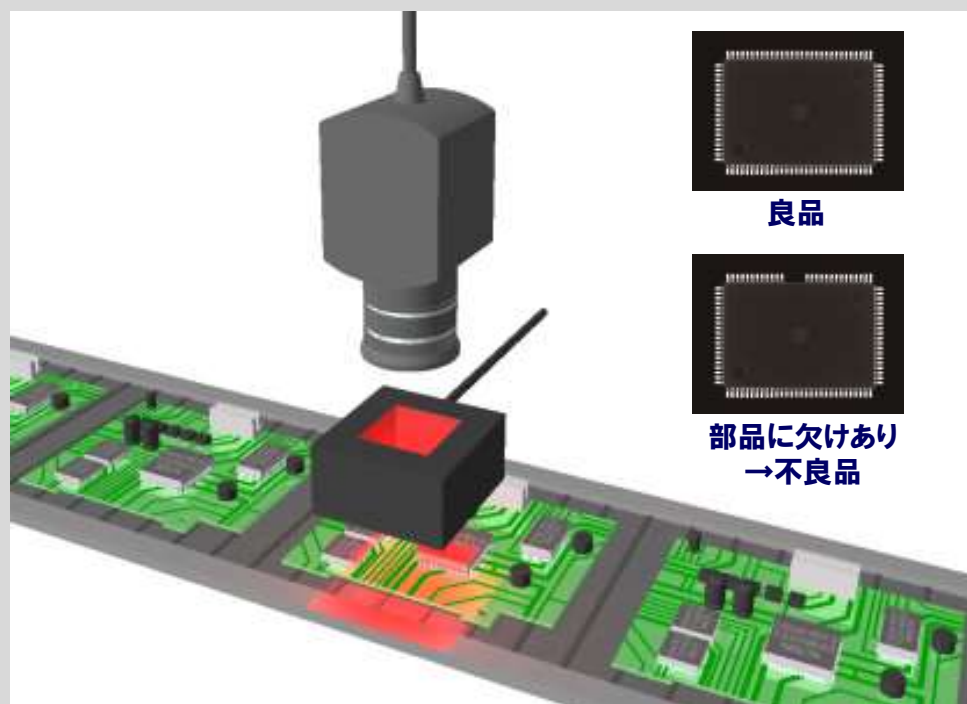
## 参考資料:LED開発の歩み

- 1962年 赤色と黄緑色が開発
- 1970年代 赤色と黄緑色が実用化
- 1993年 青色が製品化
- 1995年 純緑色の開発  
光の三原色がそろう
- 1996年 白色が開発
  
- 現在 発光効率の向上  
高演色性白色の開発

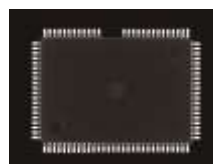


CCSは、画像処理用LED照明市場で国内・海外ともに  
トップシェアを占める リーディングカンパニーです。

## 画像処理とは？



良品



部品に欠けあり  
→不良品

・プリント基板の実装部品欠陥検査



・ウェハーのチリ/ホコリ撮像



・ガラス瓶の刻印撮像

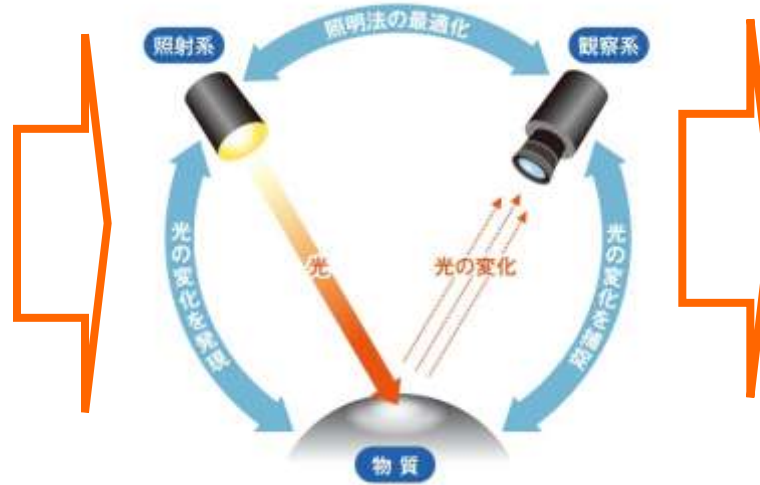


・プラグの電極ギャップ撮像

## <照明法の最適化>



流通している硬貨。  
実際に検査しているものではありません。



伝搬方向を最適化  
見えなかった、  
500円の文字を抽出。

同じ対象物でも見え方が全く異なります。  
この光の選び方が技術・ノウハウである、

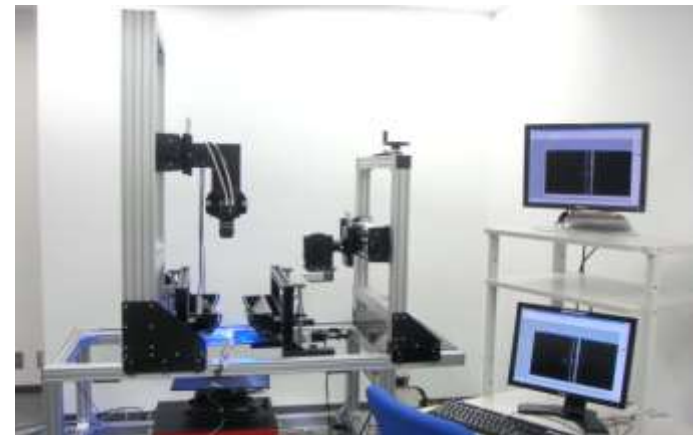
**「ライティングソリューション」**です。

## 信頼の実績とサポート体制

- 50,000件以上のワーク撮像実績
- 約10,000機種のカスタム照明の設計・開発・製作
- 数百種類、一万台以上に及ぶ無料貸出機を準備
- エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備



エリア実験室



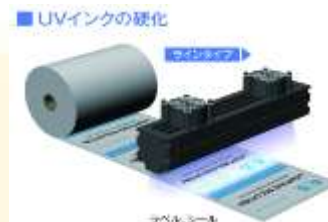
ラインセンサ用実験室

# シーシーエスの事業領域



新規事業

UVビジネス



自然光LED

MV事業

美術館・博物館  
ビジネス



マシンビジョン用照明

(エリア照明・ラインセンサ用照明)

メディカルビジネス



アグリバイオ  
ビジネス

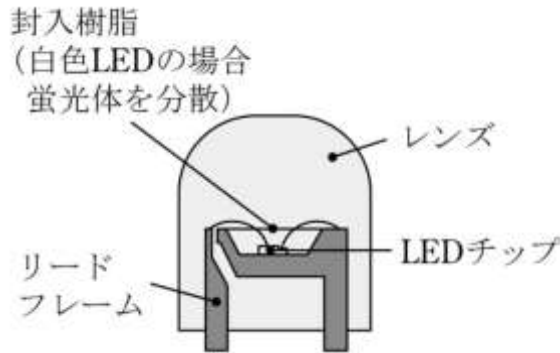


デバイスビジネス

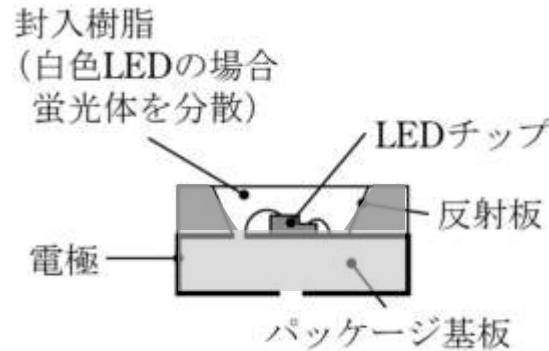


## LEDの種類と構造

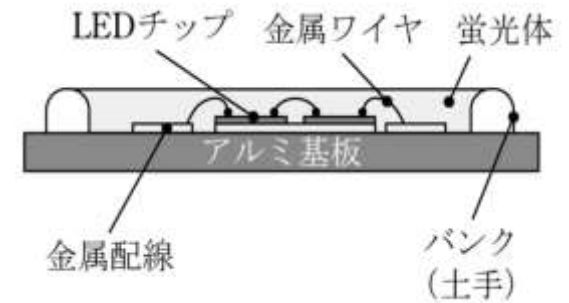
LEDは、LEDチップ、蛍光体、パッケージや封止樹脂などさまざまな部材を組み合わせ、複雑な光学現象、化学現象、構造力学現象をハンドリングしてつくりだされています。



砲弾型



表面実装(SMD)



チップオンボード(COB)

\* 参照: 公益社団法人日本電気技術者協会 電気技術開設講座

シーシーエスは、独自の技術で設計開発を行いオリジナルLEDの開発に取り組んでいます。

## 【SMDパッケージング技術】

### 高効率化

#### 【蛍光体】

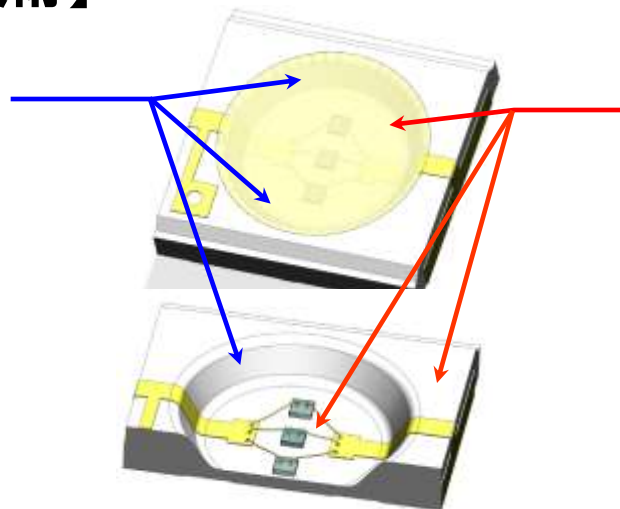
材料及び封止方法の最適化

#### 【封止樹脂】

材料特性、表面形状の最適化

#### 【リフレクタ形状最適化】

壁面高さ、角度、高反射率



### 長寿命化

#### 【封止樹脂】

耐熱・耐光性向上

#### 【ボンディング材料】

耐熱・耐光性向上、高放熱性

#### 【パッケージ材料】

高反射率、高放熱性

## 【COB実装技術】

### 高効率化

#### 【蛍光体】

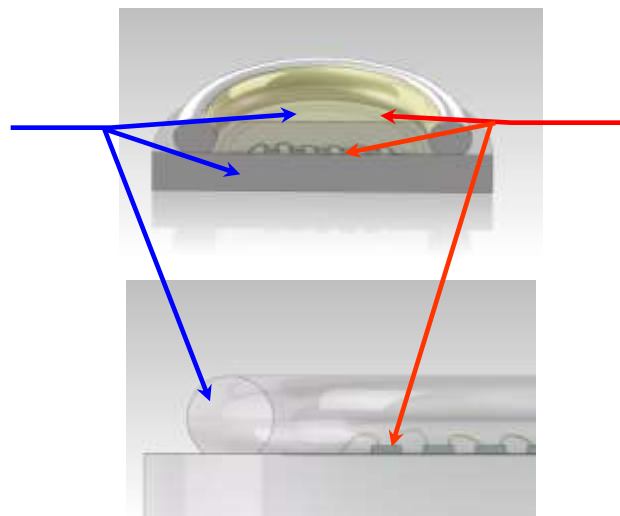
材料及び封止方法の最適化

#### 【ダム材】

高反射率、成型化

#### 【基板材料】

高反射率、高放熱性



### 長寿命化

#### 【封止樹脂】

耐熱・耐光性向上

#### 【実装パターン】

狭ピッチ、高反射率

#### 【ボンディング材料】

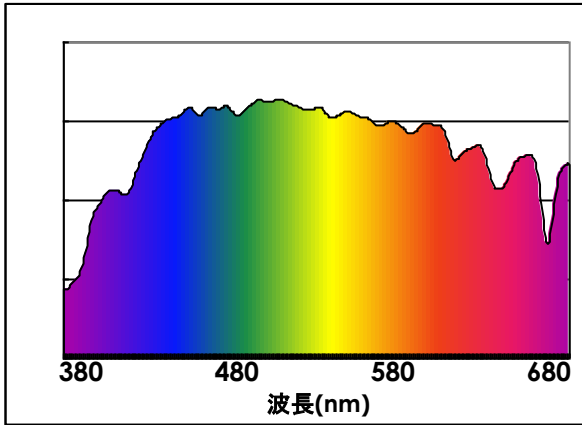
耐熱、耐光性向上、高放熱性

# 「自然光LED」とは

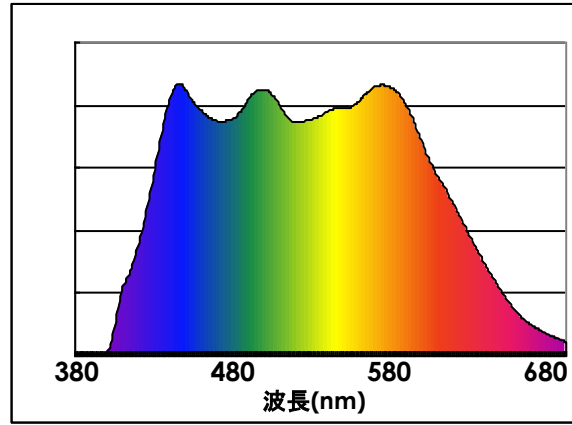


独自に開発した太陽光に近い光を再現する「自然光LED」  
色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数\*において、  
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

太陽光の分光分布 5200 K(AM:10時)



“自然光LED5000 K”の分光分布

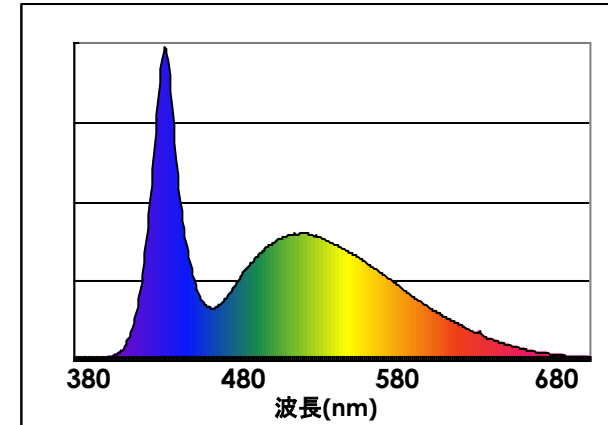


太陽光に近い分光分布で物体の色を忠実に再現



肌の色も自然に美しく魅せることができます

一般的な白色LEDの分光分布



青色LEDの青が極端に強い



## CIE2015 マンチェスター大会

2015年7月 イギリス  
The University of Manchester

### ▶▶ 高演色白色LED照明下での絵画やカラーチャートの見え方について

近年、美術館などの展示空間において、LED照明が多く導入されるようになった。紫色励起の白色LEDは演色性が非常に高く(単位:Ra)、様々な色の再現性に優れている。しかし、色の見えが作品の印象に大きく影響する美術館でLED照明をより有効に活用していくためには、さまざまな特徴を持った絵画に関するデータを蓄積していく必要があり、2014年7月には、日本画の見えに与える影響を実験によって検証した。しかし、主観的な見えや好ましさは民族的・文化的背景の影響を受けやすいことから、様々なデータを集める必要がある。本研究では、LED照明が絵画やカラーチャートの見えに与える影響を、フランス人および日本人で実験し、絵画鑑賞に適した照明環境の検討を行うことを目的とした。



図1. 実験空間



図2. 実験を行ったカラーチャート、絵画

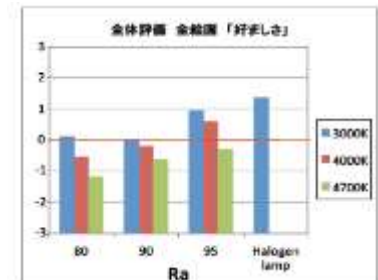


図3. 評価結果

今回の実験では、主観評価実験を行うことで絵画の見え方に影響する評価要素を明らかにした。結果として、紫色励起の白色LEDはフランス人でも日本人でも好ましい見えを得られたが、フランス人は色温度の高い白色LEDを好み、日本人は低めの色温度を好むことがわかった。また、ハロゲンランプとの置換えも充分可能な好ましさも得られることがわかった。今後は、色温度の影響について研究を続けていく方針である。



# 「自然光LED」搭載照明の商品化に注力



顕微鏡

美術館



生鮮食品などのショーケース用照明

光源から熱を出さず、生鮮食品を傷めず店内の空調コストも抑降できます。

こんなに見え方が違います！  
特に赤い野菜や果物は自然光LEDの光で色が鮮やかに見えます。もちろん、手も自然光LEDのもとでは肌の色がきれいに見えます。

自然光LED	従来の白色LED	スポット灯

食品



ホテル・会場

# 設備投資・減価償却・研究開発費の推移



(単位:百万円)

	13/7 累計	14/7 累計	15/7 累計
設備投資	128	266	153
有形固定資産	103	160	108
無形固定資産	24	106	44
減価償却	124	146	164

16/7 1Q累計	16/7 通期計画
30	311
17	268
12	42
34	221

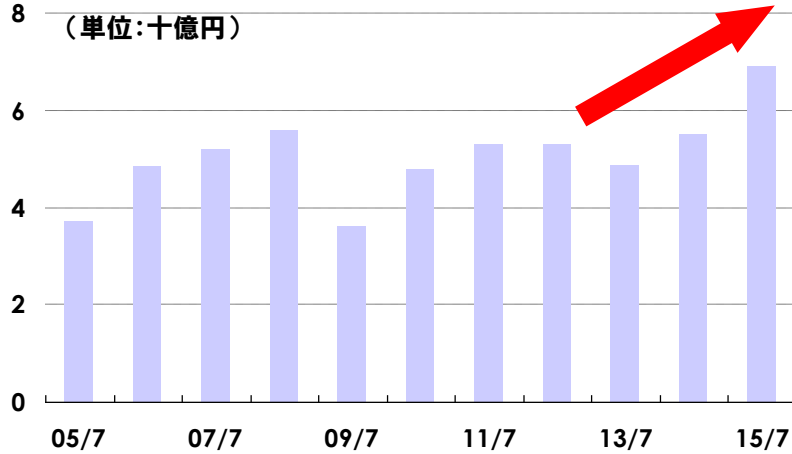
(単位:百万円)

	13/7 累計	14/7 累計	15/7 累計
研究開発費	449	464	486
対売上比率	9.3%	8.4%	7.0%

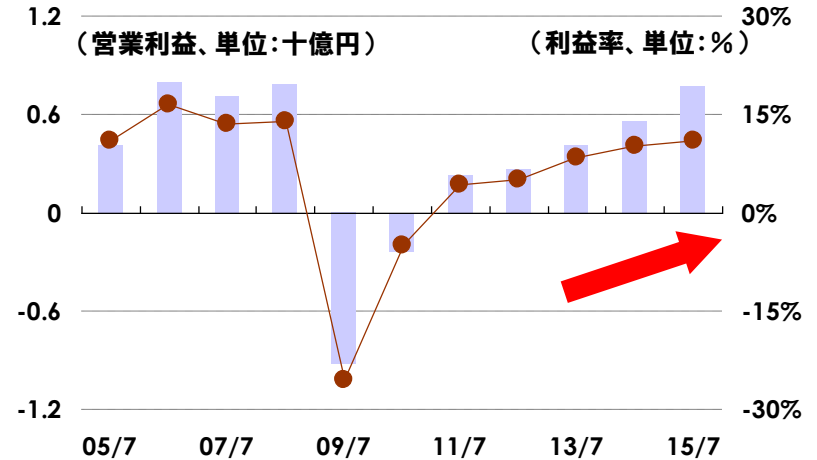
16/7 1Q累計	16/7 通期計画
130	645
7.9%	8.3%

# 業績・財務指標の推移(1)

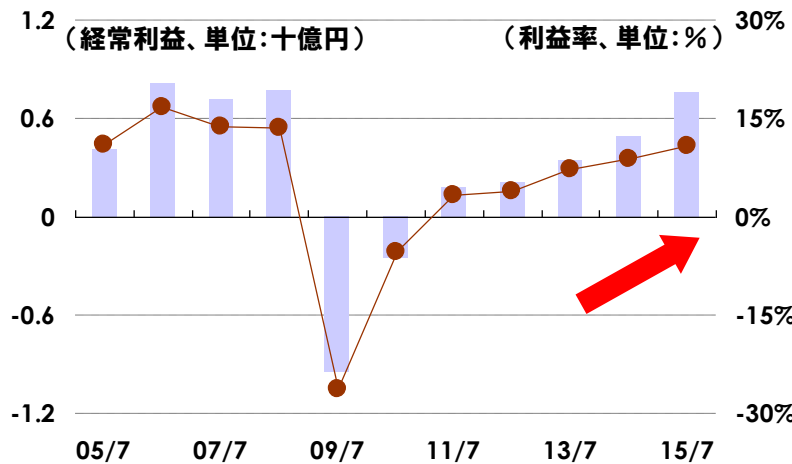
■ 売上高



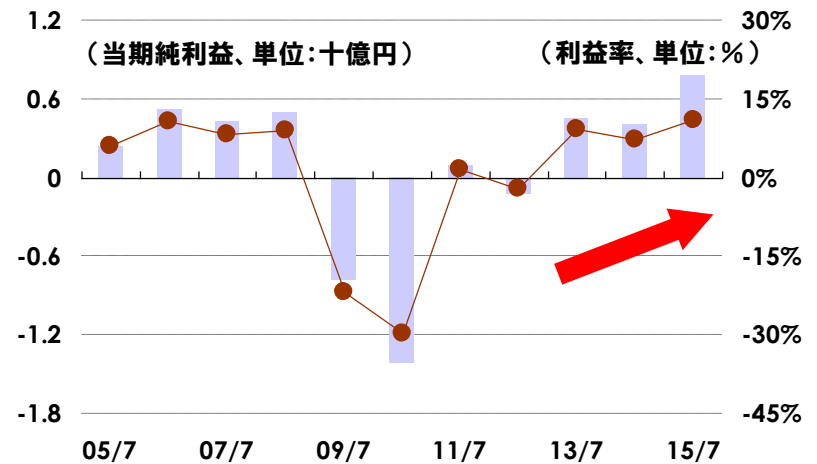
■ 営業利益 ● 売上高営業利益率



■ 経常利益 ● 売上高経常利益率



■ 当期純利益 ● 売上高当期純利益率



# 業績・財務指標の推移(2)

